令和４年度　　事　業　報　告

（令和４年４月１日～令和５年３月３１日）

事業概要

当センターにおいては、社会参加への意欲ある健康な高齢者のために、地域社会と連携を保ちながら、公益性を重点に「高齢者の福祉の増進、活力ある地域社会づくりに寄与すること」を念頭に、安全で適正な就業の推進、会員拡大に向けて新入会員の募集を図る方策に取組んでまいりました。

就業状況においては、新型コロナウイルス感染症により、会員自身が感染した等による就業中止期間があるなど、一部就業への影響も出た事や、慢性的な就業会員不足及び既存会員の高齢化による作業負荷の課題等もあり、今まで継続的に受注していた大規模な草刈り作業を減らすなど、安全・適正就業遵守等の推進を図りつつ、事業運営をしてまいりました。

就業会員の不足が顕著になっている中、解消を図るための方策として、広報紙「シルバー大島」・会報誌「シルバー大島会報」並びに町広報誌への掲載、チラシ配布等により会員募集に力を入れてまいりました。

また、作品展・ゲートボール大会の開催や、ボランティア活動により普及啓発・会員増強に努めました。

令和４年度事業実績一覧表

（金額単位円）

		令和４年度	令和３年度	比　較
契約金額	公共	78,749,482	92,839,811	△ 14,090,329
	民間	22,792,742	25,083,947	△ 2,291,205
	合計	101,542,224	117,923,758	△ 16,381,534
受託件数	公共	409	462	△ 53
	民間	421	465	△ 44
	合計	830	927	△ 97
就業延実人員	公共	2,433	2,805	△ 372
	民間	1,131	1,318	△ 187
	合計	3,564	4,123	△ 559
就業延日人員	公共	13,241	14,819	△ 1,578
	民間	3,930	4,216	△ 286
	合計	17,171	19,035	△ 1,864
配分金	公共	68,275,993	77,803,584	△ 9,527,591
	民間	20,426,482	22,403,419	△ 1,976,937
	合計	88,702,475	100,207,003	△ 11,504,528
材料費	公共	4,759,159	8,438,881	△ 3,679,722
	民間	838,545	1,215,648	△ 377,103
	合計	5,597,704	9,654,529	△ 4,056,825
事務費	公共	5,714,330	6,597,346	△ 883,016
	民間	1,527,715	1,464,880	62,835
	合計	7,242,045	8,062,226	△ 820,181

事　業　報　告

１．就業開拓提供事業

公共事業につきましては、大島町・東京都及び関係諸団体に対して、就業開拓等日常的に連携を深めてまいりましたが、就業会員の不足や、既存会員の高齢化により、安全・適正就業の遵守を図るため、大規模な草刈り作業等の受託を減らしたほか、一部契約内容の変更に伴い公共事業で前年比約 15.2%減､民間事業で約 9.1%減の契約実績となりました。

今後の就業会員増強策に課題を残すこととなりました。

２．普及啓発事業

広報紙「シルバー大島」年２回の発行、会報誌「シルバー大島会報」隔月発行、大島町のご協力により「広報おおしま」に会員募集記事の掲載、会員募集チラシ配布（年２回)、各団体主催行事等へのボランティア参加活動、また、当センター主催の作品展・ゲートボール大会の開催等、会員・役職員の協力により実施し、地域住民との交流を図るとともに、就業開拓及び会員拡大を同時に推進する活動に努めました。

３．研修・講習事業

東京しごと財団・第２ブロック主催の各種研修会については、コロナ禍の影響により、オンラインによるリモート形式と集合形式の併用で役職員が受講し報告することにより、情報の共有化を行い、安全就業・適正就業の推進を図りました。

また、より良いサービス提供を図るため、就業支援講習として床面ワックス講習会を開催し、会員のスキルアップに努めました。

自主講習会として、和服（浴衣等）の着付け教室を開催し、会員相互の交流を図りました。

４．調査研究事業

会員の適正な就業を推進するとともに、当センターの適正な組織運営と体制作りを図るため、理事会及び各委員会と事務局との連携を密にし、大島町・東京しごと財団等の協力を得て、法令遵守、適正な請負契約、就業のあり方等について改善に努めました。

５．相談事業

既存会員に対する就業相談を随時センター施設内で実施すると共に、新規入会希望者への説明・相談を実施。

また、今年度は２７名の方が新規入会され、更に会員増強を図る目的で平成２８年度に制定した「会員紹介報奨制度」を活用した、既存会員による声掛け運動により、新規入会者の内１０名の方が入会しました。

しかし、過去３カ年の会員数については、２年度（２２３名）、３年度（２２２名）、４年度（２２１名）となっており、会員数については横ばいとなっていますが、就業会員不足により事業運営に支障を来たしていますので、今後も就業会員の確保に力を入れてまいります。

６．安全就業推進事業

シルバー事業の最優先課題でもある、安全就業推進のための転倒事故防止や、熱中症対策、コロナ感染症予防対策等の会員へのお知らせ（会報誌「シルバー大島会報」）により、タイムリーな周知を行いました。

また、安全管理委員会による就業先への安全パトロールの実施並びに、作業に必要な機材・道具等の定期点検を実施し、安全就業の徹底を図り、今年度は「事故ゼロ」を達成する事が出来ました。

引き続き、事故防止等の対策を図ってまいります。

７．法人運営

公益社団法人の運営について、理事会のもとに組織的で機能的な事業運営を行うため、総務委員会において関係規程の改正（案）、事業計画（案）、収支予算（案）等の検討を行い、法令遵守のもと運営全般の把握や事務の効率化等について、理事会及び各委員会を中心とした組織運営に努めました。

また、令和５年１０月施行のインボイス制度に伴う消費税の自主財源確保等の検討を実施。

適切な経理処理と運営全般に繋がる会計期中・決算及び業務監査を行い、監査機能の充実を図りました。